東京女子医科大学看護系 *VOL.22*

同窓会会報

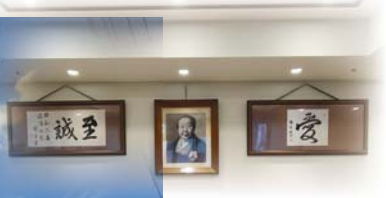
発行年月日　2022 年 10 月15 日
編　　集　同窓会編集委員会
発　　刊　東京女子医科大学看護系同窓会事務局
〒162−8666 東京都新宿区河田町 8 − 1
巴女子学生会館 2 階
twmu.nursing.aa@gmail.com

東京女子医科大学附属足立医療センター

令和４年元旦、足立区江北に引っ越しして、もうすぐ１年経ちます

大講堂

東京女子医科大学看護専門学校



専門学校
グランドフロア
吉岡彌生先生

実習室

情報実習室

キャンパスツアーを楽しめます

目　次

●表　紙
●会長・理事長挨拶…… 1
●学長・看護学部長挨拶…… 2
●特集：附属足立医療センター…… 3
●総会報告…… 5
●2021年度活動報告 …… 5
●役員一覧・退任挨拶等…… 6
●掲示板・編集後記

会 長 挨 拶

東京女子医科大学看護系同窓会
会長　武田　智子（短大5回生、専攻科3回生）

会員の皆様には、日頃より看護系系同窓会の活動にご理解をいただき、心より感謝申し上げます。この度、第22回総会の承認を得て、会長職として2期目の重責を担わせていただくことになりました。前期とはまた違った意味で身の引き締まる思いです。

第7期においては、パンデミックが宣言され、そしてwithコロナからafterコロナ時代へと変化している中で、あらゆる日常が変化し新しい生活様式への適応が求められ、今後もなお変化をしていくことでしょう。本会もこの変化への対応を余儀なくされ、新しいことに挑み、取り入れ、同窓会発展に向けた力を備えていく活動になりました。皆様に楽しみにしていただいている年一回の総会も、昨年同様、書面総会という形式で開催をいたしました。これらに対応していく中で、本会の在り方や運営、環境面などへの改善に取り組んできたことは、地道な踏み出しではございますが、新たな一歩であったと考えております。これも会員の皆様と学校や法人関係者のご協力と役員の方々の活動の賜物だと感じております。

第8期は、道半ばである会員名簿の整備をはじめとする盤石な基盤づくりを課題として、継続して取り組んでまいります。そして、昨年リニューアルしましたホームページは、学生会員および会員の皆様と同窓会、同窓会会員同士の相互交流の手がかりとなることを期待し活用していただけるよう、充実に努めてまいりたいと考えております。本会からの発信にとどまらず、皆様からの近況報告や忌憚のないご意見をいただけますようお願い申し上げます。

昨今の地球温暖化による異常気象、災害や世界事情では心痛める日々が続いておりますが、人々の平和と健康を願い、これまでの活動を更に発展させ、会員の皆様との交流を図り、会員同士の顔が見える関係性を構築することに務めてまいります。さらに、本会発展のため、本会の活性化を図り、大学・病院施設と協同し、保健医療福祉および社会に貢献できるよう活動を進めてまいる所存です。

今回の会報誌（VOL.22）の表紙は、看護専門学校の紹介動画と、特集として令和4年元旦に足立区江北に移転した「附属足立医療センターとそこで活躍する同窓生」をご紹介しております。足立区内初の大学病院として、地域住民の期待とともに地域密着型の医療が構築されていくのではないかと思います。是非、ご閲覧ください。

最後に、会員の皆様のご健康とご活躍を祈念するとともに、本会活動へのご参加とご協力をお願い申し上げます。

ご 挨 拶

学校法人　東京女子医科大学
学長　丸　義朗

2022年5月彌生塾の第一回セミナーで、私は吉岡彌生先生の看護系人材育成に関する根本的なお考えに言及し、また彌生先生のお人柄や指導者としての魅力・教えに従って看護人生を歩まれてきた看護系卒業生をご紹介させていただきました。

産婆看護婦養成所は東京女子医学専門学校の付属施設であり、70％の学説合格者に非常にお喜びになっていらっしゃるという記述から始まります。医学専門学校とこの付属養成所が「切っても切れぬ関係」で、立派な産婆看護婦を世に送り出すことがご自分の念願であったとおっしゃっています（女医界第220号1931年7月P.6）。その目的は社会衛生への貢献です。本学看護学部の国家試験合格率は今年100％で、看護専門学校とも高い水準の合格率をこれまで誇ってきました。知識と技能は社会貢献の大前提です。

彌生先生のお人柄が人の心を動かす力をもっていたからこそ、彌生塾セミナーでご紹介した看護系卒業生のお一人は、ご高齢になっても同窓会に参加されたのでしょう。「女性が仕事をもって世の中で生きていくには辛いことがありますが、その時は母校にいつでも戻ってきて下さい」と彌生先生がおっしゃり、私はこの言葉を心の拠り所としてこれまで生きてきました。そう私はご本人からこの耳で聞きました。彌生先生のお言葉を書面でなく人から直接聞く機会は極めて少ない昨今です。同窓会に参加なさったおり、屋外に出て創始者吉岡彌生先生の銅像に一礼して梅雨に濡れた銅像の手を握り「先生の教えの道を一筋に歩んで参りました。ありがとうございました」とおっしゃったそうです。感動的です。これこそ建学の精神の継承ではないでしょうか。

看護系同窓会の卒業生の多くは、常に卒業校に感謝の念を持ち続けていらっしゃることと思います。

看護系同窓会に期待すること

学校法人　東京女子医科大学
理事長　岩本　絹子

まず初めに、東京女子医科大学看護学系同窓会 武田智子会長はじめ関係各位の皆様には、日頃より本学の運営にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。心より厚く御礼申し上げます。

また、この度は、令和2年（2020年）2月頃から続くコロナ禍により、現在も大変困難な状況が続いておりますが、医療従事者・関係各位の皆様に心より敬意を表し、深く感謝申し上げます。一日も早く収束することを心から願っております。

さて、本学の看護教育は、今年で92周年という歴史と伝統があり、昭和5年（1930年）に設置された東京女子医専附属産婆看護婦養成所産婆学校に始まり、その後、変遷を重ね、看護専門学校は平成7年（1995年）に設立、看護学部は平成10年（1998年）に設立し、現在に至っております。また、荒川区西尾久の東医療センターに併設されておりました看護専門学校の校舎については、昨年令和3年（2021年）11月に足立区江北への病院移転に伴い、「東京女子医科大学附属足立医療センター」と名称変更した新病院とともに、併設した看護専門学校の新校舎も竣工し、順調に稼働しております。そして、本学はこれまで多くの看護系の卒業生を輩出しておりますが、過去において、看護系の同窓生全体の把握が出来ておりませんでした。

平成13年度（2001年度）に看護系同窓会が統合されてからは、今年で設立22年であり、まだまだ歴史が浅いのが現状でありますが、今後とも引き続き、看護系同窓会の皆様方のお力を結集していただき、ご支援ご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。また、本学としては、看護系卒業生の活躍が必須にもかかわらず、例年、卒業生の内部就職率があまり高くないことが、非常に残念であります。

是非とも卒業生の皆様方には、母校の発展のために、そして、ご自身の研鑽のためにも、女子医大の各病院で勤務していただき、女子医大の医療および先端医療を学んでください。女子医大の建学の精神「医学の蘊奥（うんおう）を究め兼ねて人格を陶冶し社会に貢献する女性医人を育成する。」と、それを具現化するための理念「至誠と愛」のもと、患者様に寄り添った医療を行い、社会に貢献していただくことを願っております。

結びになりますが、看護系同窓会全体としての更なる発展とともに、看護系同窓会の皆様方におかれましても、お身体ご自愛いただきながら、今後益々のご健勝とご多幸を祈念いたします。

看護学部近況の報告

学校法人　東京女子医科大学
看護学部長　小川　久貴子（短大11回生／専攻科8回生）

新型コロナウィルス感染症が第七波として急増しておりましたが、皆様、如何お過ごしでしたでしょうか。私は、看護学部長として2期目を拝命いたしました。看護系同窓会の皆様には、平素より母校の発展のためにご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

新校舎における医学部との協働教育推進は元より、知識だけでなく人格も兼ね備えた卒業生を、一人でも多く輩出し活躍できるよう、本学理事長、学長、3病院の病院長や看護部長をはじめ多くの方々と連携して進めております。新型コロナウィルス感染拡大の中、看護学生は自宅でオンライン対面授業のハイブリッドで行い、臨床実習は可能な範囲で実施しております。9月からも、ハイブリッド学修と臨床実習を併行し、学生が主体的に学べるよう、心身の両面から支援するように心掛けて参ります。

看護系大学が急増する中、多くの卒業生が本学関連病院での勤務後にその経験を活かして、各方面で活躍しております。本学の理念や建学の精神などが、卒業後にどのように具現化しているのか、昨年度より看護学部でも卒業生調査を開始しております。学部1回生が卒後20年をようやく経過した時点ですので、同窓会をはじめ各種学会や協議会などで社会貢献しはじめる頃であります。これらの調査結果を活かし、今後の教育改善や卒業生支援に努めたい所存です。今後とも、卒業生調査や住所変更の際には、ご協力をお願いいたします。

さらに、本学3病院では診療看護師（NP）の研修の受け入れや特定行為研修ができるように検討を開始しております。女子医大の看護師は実践に強いなどの特徴を出せるよう、卒業生の皆様も母校の臨床に戻り、スキルアップをしてみてください。卒業生の方々に、今後も、至誠と愛の理念に基づいた看護を発展させていただきたく支援して参ります。

特集　附属足立医療センターが開院しました！

東京女子医科大学附属足立医療センター
病院長　内潟　安子

荒川区尾久の地で87周年を迎えることができました。本学東医療センターは、令和4年元旦、足立区江北に、10階建の“新”病院に引っ越しいたしました。そして東京女子医科大学附属足立医療センターに改称しました。岩本絹子理事長（当時副理事長）の大英断がなされ、足立区への移転が一挙に現実化したのが5年前。職員の大悲願成就への道を歩み始めて、ようやく実現いたしました。

昭和5年吉岡彌生先生（当時63歳）が荒川尾久の地で行った夏季無料診療を機に昭和9年東京女子医学専門学校尾久病院が開設、その後東京女子医大学附属第二病院、東京女子医科大学東医療センターと改称しつつ、建学の精神と「至誠と愛」の下に、区東北部唯一の救命救急センター、災害医療拠点中核病院、地域がん診療病院、地域周産期母子医療センター、がんゲノム医療連携病院等々の機能をもった地域医療支援病院と発展し、地域の先生方に多大なご支援ご協力をいただいてきました。その一方で病院機能の維持確保には手狭・複雑・老朽化問題が大きくのしかかり「新病院建築待ったなし」状態でした。

新建物が完成したのは東京オリンピック・パラリンピックと同時期の令和3年7月末でした。その後は急ピッチで電子カルテ、ベッド、什器備品（2トントラック800台分）が設置され、何回もの稼動確認作業、さらに東京都をはじめとする検査が行われ、病院として稼動してよいという許可をいただいたのが令和3年の終わり。

さあ最後の山は移転の日と決めた元旦。人工呼吸器装着の超重症患者11名を救急車両にて元旦の早朝に慎重に新病院に無事搬送して入院治療の開始となりました。次は5日の外来診療開始です。やはり朝7時からスタンバイして、400名超の再来患者さんと多くの新患患者さん、そして下見に来られた方々に対応いたしました。

広くなった院内を、今も教職員は毎日走り回っております。朝な夕なに富士山を眺めることのできる足立医療センターに、今後ともご支援ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

2022年1月1日（移転日）：9階の病棟より撮影した富士山

最新機器が揃う３部署を紹介

掲載しきれなかった写真と全文文章は、右記QRコードからご覧いただけます。
HP会員専用【PW：twmu2022】
写真館に掲載しています。

救命 ICU　全力で命を繋ぐ、ドラマよりもドラマがここにあり!!

2012年に救命ICUへ入職し11年目となりました。初療対応に加え東京DMATの出動や、足立区への病院移転後はハイブリッドERの稼働が始まるなど、新たな発見の毎日です。私は現在、コロナ禍の面会制限がある中で、超急性期から始める退院支援に力を入れています。

井上　季咲（看護学部11回生）

救急救命センターは日本でも数少ないハイブリッドERを併設。ハイブリッドERでは初期診療と同時に開腹手術や緊急カテーテル治療も実施しています。看護師は更なるスキルアップが必要であるため、日々勉強に励んでいます。

渡辺　真紀（看護専門学校12回生）

ハイブリットERの内部：必要時に奥の扉からCTがでてきます

救急車入口：災害に備えスロープを上った2階

水陸両用車「ARGO：アーゴ」

9月　初の患者搬送

手術室

「One for all ♥ all for one」日々一丸となって臨む!!

救急車の受け入れ件数も多く、昼夜問わず緊急手術が多く行われ、大変なこともありますが、同じ目標を持ち、日ごろから声を掛け合い、一つ一つ行っていく中でチームの一体感も生まれます。長時間に及ぶ手術であっても、達成感があり、そこにやりがいを感じています。

奥田　彩乃（看護専門学校17回生）

インターンに訪れた東医療センター手術室の雰囲気が温かく入職を決め2年目。責任を感じることも多くなりましたが、介助につける手術も増え、大変だけれどやりがいを感じています。更なるキャリアアップを目指して、今後も頑張っていこうと思います。

金野　友香（看護学部20回生）

手術室で大切にしていることは“コミュニケーション”一つの手術に医師・看護師・臨床工学技士など様々な職種が関わっています。看護師は患者も含めチームで円滑に手術を進めるため、進んで多職種と連携を取り、“チームの一員”としてやりがいを感じながら日々働いています。

大村　真理子（看護専門学校17回生）

手術室内の広い廊下

全診療科対応できる
看護師の育成中！
足立医療センター
手術室の強みです。

手術室

ハイブリット手術室

NICU/GCU

赤ちゃんがおうちに帰る日を願って!!

新生児の命を守る使命を持って、22週以降500gほどで生まれる赤ちゃんの愛護的な看護ケアを提供することには、大変神経を使いますが、そんな赤ちゃんが大きく成長し、家族と笑顔で退院していく姿をみて、また頑張ろうと思う毎日です。

伊藤　友美（看護専門学校9回生）

NICU/GCUに入職し2年目を迎えました。入職時と比べ、在胎週数の短い早産児を受け持てるようになりました。家族と共に、赤ちゃんの成長を感じることが、喜びの毎日です。まだまだ知識、技術は不足していますが、赤ちゃんやご家族と関わる中で、自分自身も成長していけたらと思っています。

南村　梨沙（看護学部20回生）

GCUでの一番の喜びは、患者さんがおうちに帰る退院の日。ご家族の腕に抱かれ、生まれてから退院までをご家族と振り返り、お互い「ありがとうございました」と伝え合うとき。赤ちゃんが家で毎日を過ごし、成長していく日が早く迎えられるよう、みんなで日々頑張ってます。

中村　亜由子（看護専門学校10回生）

NICU/GCUの入り口

NICU

窓も大きく、明るい雰囲気になりました。
呼吸器、点滴、モニター類など機械に囲まれています。

東京女子医科大学附属足立医療センター
看護部長　木所　篤子（修士課程2回生）

この度の移転に際しまして会員の皆様には多大なご支援を賜り心よりお礼申し上げます。オープン直後の混乱していた時期があっという間に経過し、現在課題はあるものの、病院運営はなんとかスムーズに行われ、多くの患者さんが来院・入院されています。これも職員が一致団結し多くの困難を乗り越えてきた賜物と感じております。

コロナ禍の中2020年9月には13のワーキングが立ち上がり、移転に向けて一気に加速していったように思います。2回のハーサルは毎回100名以上のスタッフが参加し、忌憚ない意見を出し合い検討いたしました。

2022年1月1日に最大のイベントである患者移送の日を迎えました。診療科の多大な協力のもと移送患者さんは11名となり、お正月の晴天の中、旧東医療センターから約3km離れた附属足立医療センターへ安全第一にアクシデントなく搬送されました。感謝と共に安堵したことを覚えています。そして開院初日の午後から三次救急の受け入れをはじめ、新病院はスタートいたしました。

新病院では様々な最新機器が導入されており、院内PHSから医療用iPhoneとなり、電話番号検索機能やワオトークなど非常に便利な機能を活用することができます。このように建物が新しく、奇麗になり、様々な機能が導入され、看護職にとって安全で働きやすい環境が整えられました。

そして何より外来通院や入院される患者さんにより安全でより快適に過ごしていただける環境になり、大変うれしく思っております。今後は地域のニーズに応え、患者さんにより安全で安心していただけますよう、努めてまいります。皆様のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2021年11月13日（内覧会）：10階の特別室より撮影した夕方の富士山

2022年度 第22回定例会員総会決議結果報告

※総会成立条件「会則第14条2項により、総会は正会員および学生会員出席人員より成立」

第1号から第6号議案まで、賛成多数で可決いたしました。詳細は以下をご参照ください。

1. 発送方法と発送数

発送方法	対象	発送数
合　計		5,184
メール配信	在校生	613
	メール配信希望者	780
官製はがき	現役校卒・修了生	1,683
	旧同窓会会員	108
従来通り郵送	旧同窓会会員	2,000

2. 投票数と投票率

投票率は第20回（7%）、第21回（12%）と徐々に上昇しています。

	発送数	投票数	投票率
合　計	5,184	770	15%
在校生	613	401	65%
現役校卒・修了会員	2,463	143	6%
旧同窓会会員	2,108	226	11%

3. 書面票決結果（委任状を含む）

議　案	賛成	反対	無回答
第1号議案　2021年度活動報告	770	0	0
第2号議案　2021年度決算報告	769	1	0
第3号議案　学校債の再購入	760	8	2
第4号議案　特別事業 _QUOcard 進呈	765	4	1
第5号議案　看護学会臨時助成	767	2	1
第6号議案　第8期役員の承認	769	1	0
第7号議案　2022年度活動報告 _ 案	756	0	14
第8号議案　2022年度予算 _ 案	756	2	12

※発送方法を従来通りの書面郵送、QRコード付きはがき、メール配信の3パターンとしました。

会員数報告 2022年9月1日現在

分類	学校名		登録者数[注1]	連絡可能数[注2]
A	1965年以前の女子医科大学看護系学校		127	64
B	附属高等専門学校→附属看護専門学校		1,064	494
C	短期大学および専攻科		2,234	1,097
D	附属属第二高等看護学校→附属第二看護専門学校		1,066	444
E	看護専門学校	卒業生	2,000	1,151
		在校生	233	233
F	看護学部	卒業生	1,910	1,140
		在校生	364	364
G	大学院	修了生	148	83
		在校生	18	18
合計			9,164	5,088

注1) 延べ数　注2) 実数　✤ 特別会員　7名　✤ 賛助会員　18名

本学創立120周年記念品の紹介

法人より120周年記念史と共に記念品をいただきました。

☜ 旧1号館の外壁です。

東京女子医科大学史料室に寄贈

2008年5月31日に厚生専門学校ご卒業の坂本玄子様より、第1期会長の高坂美枝様にご寄贈いただいたものです。看護歴史研究4巻の内1巻は国会図書館にも所蔵されていないものでした。貴重な資料ですので史料室へお手紙と共に寄贈いたしました。

近日中にホームページにPDFを掲載予定です。

2021 年度特別事業報告①：在校生へ同窓会オリジナル QUO カード配布

これまで本会の学生活動支援事業として、ボランティア活動、学園祭、サークル活動などに助成をしてまいりました。しかし、コロナ禍において、これらの活動の自粛が続いております。そこで、様々なコストカットを行った予算を原資として、学生会員全員に本会オリジナルQUOカード（2,000円）を12月に配布いたしました。

同窓会特別事業：COVID-19関連特別事業（予算165万円）

デザイン：事業名・至誠と愛・ロゴマーク入りの2パターン

対象　看護学部 369名、看護専門学校 241、大学院 30　合計　640名

2021年度特別事業報告②：贈呈 DVD の活用報告、看護学部・看護専門学校活用報告

このたび、看護系同窓会より、母性看護技術に関するDVDを寄贈していただきました。

褥婦と新生児の看護について、知識を活用し実践していく過程で主体的に学修していく際に大変参考になります。

知識と実習を関連付け具体的に学びを深められるよう活用してまいります。

看護学部

本年度は現在、臨地実習が行われておりますが、実習前の準備として、DVDを通し、バイタルサインの測定やケア、プレパレーション、検査や、遊びを学んでから実習に臨んでおります。

本の活用については、今後地域・在宅療養での授業を踏まえ、活用していく予定です。

看護専門学校

第８期（2022.7.1 ～ 2025年度総会日）東京女子医科大学看護系同窓会役員一覧

顧問	理　事　長	岩本　絹子	学　　長	丸　　義朗			
特別会員	至誠会会長	岩本　絹子	看護学部長	小川久貴子(同)	看護専門学校校長	内潟　安子	
	本院病院長	板橋　道朗★	足立医療センター病院長	内潟　安子	八千代医療センター病院長	新井田達雄	
	本院看護部長	近藤　芳子★	足立医療センター看護部長	木所　篤子(同)	八千代医療センター看護部長	川崎　敬子(同)	
会長	武田　智子(短大 5, 専攻 3)						
副会長	青木　雅子(学部 1, 修士 1, 博後 1)	三輪　生子(短大 4, 修士 1)					
理事	秋山　直美(学部 13)★	石阪　香(附第二 22)	稲野辺奈緒子(博前 12)★	大吉真貴子(附看専 22)			
	菊地　聡子(学部 5)	柴田　典子(短大 26)	嶋田　悦子(看専 3)★	嶋田　正子(附看専 25)			
	中野　真子(学部 16)★	中村　邦子(短大 28)	飛澤　史子(看専 4)★	廣川　友香(短 22, 博前 17)			
	古川　智美(学部 1)	松村　未葉(短 26, 専攻 23)	光武　智美(附第二 20)★	三好麻実子(短 24, 博前 7)★			
	吉田　千鶴(博前 8, 博後 9)★	吉田美由紀(短大 13)★	山崎　千草(博前 8, 博後 13)★				
代議員	大井香奈美(附第二 22)	小野久美子(短大 28)	田中　桃子(学部 9, 博前 18)	田原　昌子(短大 22)			
	丹呉　恵理(附第二 20)	滑沢　晴美(附第二 22)	成田美和子(看専 2)	濱田亜希子(看専 6)			
監事	木内みゆき(附第二 20)	茂木　奈津(短大 28)	外部会計監査(税理士)　佐野典子				

※注　敬称略、掲載：アイウエオ順、★：新規、(同)：同窓会員、(　) 内：女子医大卒業校、回生を示す

退任役員

７名の役員が退任いたしました。

監事　飯塚　晶子（看専1）　後藤　浩子（短大14）

理事　今村めぐみ（短大24）　藤原由紀子（附第二22）

代議員　大熊 あとよ（附高看14）　渡邊世津子（短大9）　塩崎　幸子（附第二17回生）

これまで同窓会活動にご協力いただき感謝いたしますとともに、今後のご健勝とご活躍を祈念いたします。

附属看護専門学校を昭和53年第14期生として卒業。2010年から看護系同窓会理事として、微力ではありましたが母校への恩返しをしたいとの思いで活動をしてまいりました。第５期の会長を務め、その後は代議員として、10年以上同窓会の活動に携わってきました。東京女子医科大学看護系同窓会の規模の大きさに驚きながらも、卒業生が誇れるような学校であって欲しいと願いながらの会議や総会では懐かしい同期生や先輩と会えることが楽しみとなるような活動でした。同窓会会長をはじめ理事の方には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。皆様の今後の益々のご活躍を祈念いたします。　（雇用対策室　大熊　あとよ）

私事ではございますが、代議員を退任させていただくことになりました。平成３年度に東京女子医科大学第二看護専門学校を卒業し、東京女子医科大学第二病院に就職。平成17年に東医療センターと名称変更、今年は足立医療センターに移転、看護師になってずっと女子医大で勤務しております。少しでも貢献できればと、代議員をやらせていただきました。私にとって、代議員を務めさせていただいたことは、大変貴重な経験になりました。役員一人ひとりの協力と、互いに助け合う精神は、代議員活動を経験するうえで、自身の成長と学びを実感することができました。今まで本当にありがとうございました。　（足立医療センター　塩崎　幸子）

この度任期満了前ではありますが、私事により理事を退任することになりました。

コロナ禍で十分に活動貢献も出来ていない中で、心苦しく感じております。今後も本学と看護系同窓会が発展されますことを心よりお祈りしております。　（八千代医療センター　今村　めぐみ）

訃　報

薄井　坦子先生（東京女子医科大学看護短期大学教授1965-1975年）2022年２月15日（享年90歳）

※葬儀はご家族で執り行われました。ご家族へのご連絡はご控えいただきますようお願いいたします。

和田（旧姓斉藤）クニ様（東京女子医学専門学校付属産婆看護婦養成所1947年卒）2022年２月20日（享年101歳）

篠根（旧姓内山）槇子様（東京女子医学専門学校付属産婆看護婦養成所1944年卒）2022年４月５日（享年99歳）

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

掲　示　板　※下線部分はハイパーリンク

❑ 東京女子医科大学看護師・助産師募集

※正職員・臨時職員

「領域・経験は問いません」

「勤務時間・勤務地は要相談」

＜勤務地＞

☐　東京女子医科大学（本院）
☐　東京女子医科大学附属足立医療センター
☐　東京女子医科大学附属八千代医療センター

お問い合わせ先　看護職雇用対策チーム
電話番号　03-5269-7462
メール　recruit-nurse.bm@twmu.ac.jp

❑ 東京女子医科大学法人寄付金のお願い

寄付の種類

➢　創立120周年募金～125周年に向けて～へのご寄付
➢　遺贈による寄付、
➢　各種寄付金詳細　etc.

※詳細はQRコードよりご確認ください。

❑ 東京女子医科大学図書館利用ご案内

学外会員利用時には、**本会会員証が必要**です。会員証をお持ちでない方は、ホームページ「お問い合わせ」より、タイトル「会員証発行依頼」､氏名（現姓･旧姓）･生年月日･卒業学校名・卒年（ご不明な場合は不要）を記載の上、お申込みください。なお、ご利用の際は、図書館HPをご確認のうえご利用ください。

❑ 東京女子医科大学看護系同窓会総会

第23回開催予定

日時：2023年6月24日（土）
会場：弥生記念講堂（予定）
※詳細決定次第ホームページに掲載いたします。

❑ 研究助成_2023年度_募集

応募開始：2月上旬～4月上旬
本人通知：5月第3週　月曜日
✧　審査あり
✧　助成額　1件上限30万
✧　研究期間は2年間
※応募要領は、ホームページメニュー各種助成「研究助成」をご確認ください。

❑ ホームページへの掲載記事・写真募集

【会員専用ページ写真館へ掲載】

母校ゆかりの懐かしい写真や思い出の品、エピソードを募集しています。皆さまから寄せられたものは、会報やホームページに掲載、母校の歴史資料として大切に保存させていただきます。
寄贈いただける方は、ホームページ**「お問い合わせ」**からご連絡ください。

【会員専用PW：twmu2022】

❑ 短大ユニホームの募集

ユニホーム（キャップ・ギンガムチェックワンピース・エプロン･靴）
お持ちの方は、twmu.nursing.aa@gmail.comまで、ご連絡をお待ちしております。

❑ 東京女子医科大学看護学会第19回学術集会のご案内

日　時：2023年10月7日（土）
大会長：青木雅子（東京女子医科大学看護学部教授）
テーマ：「ヘルスケアを拓くアートの可能性」
※詳細はホームページにてご確認ください。

❑ 東京女子医科大学大学院看護学研究科募集のご案内

毎年応募の期間
第1期　7月頃
第2期　12月頃
詳細はQRコードよりご確認ください。

住所届けのお願い　**❖メール配信希望者も登録ください❖❖**

お知らせや会報など円滑にお届けできるよう、住所・メールアドレスなど変更された方は、速やかにご連絡をお願いいたします。

なお、今後、**電子化を進めていくため**、同窓会からのお知らせをmailでお受け取り可能な方は、必ず、**QRコードより申請をお願いいたします。**

（または、同窓会事務局メールアドレス宛にメールでも可能；twmu.nursing.aa@gmail.com）

編集後記

会報誌22号をお読みいただきありがとうございます。コロナ禍になり、3度目の会報誌発行となりました。リモート会議を中心にした、会報作成にも慣れてきたように感じております。今回は、足立医療センターに勤務する同窓会役員をワーキングメンバーに迎え、特集記事を作成いたしました。地域のニーズに応える最新設備を備えた新病院とそこで勤務する同窓生の活躍をご紹介することができましたことを嬉しく思います。

末尾になりましたが、今回ご協力いただいた皆様には、心より感謝申し上げます。　【会報担当】